

港区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第17号

令和2年9月発行

新型コロナウイルスなどの感染症対策について

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『ごみの捨て方』に沿って、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

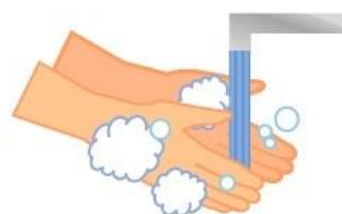
①ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしばって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりと結びます。



③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。

「衣類」の排出をお控えください

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で各国の物流が停滞し、国内外で多くの中古衣類が一時的に滞留しています。衣替えシーズンを迎え、衣類の整理をされておられるご家庭も多いとは思いますが、当分の間「衣類」の排出をお控えいただくようお願いしています。

ご迷惑をおかけしますが、できる限りのご協力をお願いします。

廃棄物減量等推進員（ごみゼロリーダー）の 活動内容について

よくお聞きするのが、ごみゼロリーダーになったものの「具体的に何をすれば、いいの？」という質問です。

- ① ごみ減量（リデュース・リユース・リサイクル）の普及啓発
⇒「ごみ減量アクションプラン」を活用した地域での学習会の実施など
- ② 再使用（リユース）、再生使用（リサイクル）の実践活動の促進
⇒資源集団回収やガレージセールの実施など
- ③ 分別排出の促進
⇒大阪市が実施している資源ごみ収集や容器包装プラスチック収集、古紙衣類収集への排出協力等の啓発
- ④ ごみ減量・リサイクルなどに関する意見及び情報の提供
⇒地域の皆さんの意見などを環境事業センターへ伝達及び研修会で得た情報を地域の皆さんへ提供
- ⑤ 美化活動の取組み促進
⇒大阪市一斉清掃（大阪マラソン“クリーンUP”作戦等）の啓発など地域での美化に関する活動促進

※主に以上の事柄を環境局と協働しながら地域での啓発に取り組んでいただきます。

家庭から排出される「蛍光灯管の電話等申し込みによる訪問回収」を実施しています

平成30年10月1日から、家庭から排出される「蛍光灯管」は、お住まいの地域を担当する環境事業センターへ電話等申し込みにより職員がご家庭まで回収にお伺いしています

蛍光灯管は、破損防止のため、紙箱や紙筒に入れるか、新聞紙等で包み、蛍光灯管だけをまとめて中身の見えるごみ袋に入れてお出してください。



おおさかプラスチックごみゼロ宣言の取組みのひとつとして、急な買い物時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する「大阪エコバッグ運動」を推進しています。

レジ袋削減に取り組みましょう。

レジ袋を断ると

レジ袋
一枚
当たり

- **ごみ減量**
約10グラムのごみ減量になります
- **資源の有効活用**
約18.3ミリリットルの原油が不要となります
- **CO₂の削減**
約61グラム（約0.061kg）のCO₂を削減できます

《編集・発行》

大阪市環境局西部環境事業センター

大阪市大正区小林西1-20-29

TEL:06-6552-0901 FAX:06-6552-1130

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

